

知識科学の確立 知識創造の理論研究とツール開発

知識科学の定義と普及

代表者：梅本 勝博（知識科学研究科 教授）

活動内容

- 知識科学、つまり「知とは何か?」「知はいかに創られるか?」という大きな問いの答えを見つける知的営為に挑戦 -

知識科学研究科は「知識」をテーマとして設立された世界で初めての教育研究機関である。

これから社会が進んでいくべき方向を考える上で、個人、組織、社会、自然がもつ「知」の創造・蓄積・活用、またその体系化メカニズムを探求する重要性が認識されつつある。

そうした中で、知識科学研究科では、社会科学の観点から組織における知識の形成と伝達過程を研究したり、認知科学的視点からグループでの意思決定を調べ、グループウェアなどの知識創造を支援する情報システムを構築したり、複雑系や遺伝子情報の研究を通して知の本質を解明しながら、既存の学問領域にとらわれることなく、「知識」という新しい視点で、社会のさまざまな課題に対し取り組んでいる。

本プロジェクトでは、未来を開く鍵としての「知識科学」、つまり「知とは何か?」「知はいかに創られるか?」という大きな問いの答えを見つけようとする知的営為に挑戦している。さらに「知識科学」の目指す方向性や社会的位置づけを明示するために、「知識社会」のイメージ・課題を抽出し、その課題解決に対して、いかに貢献できるかを研究している。

以上のような取り組みは、平成19年度に『ナレッジサイエンス』(右)に続くシリーズ本としてまとめたり、国際会議(IJCKS 2007・11月5～7日)や知識科学シンポジウム(平成18年度は3/18 於東京・学術総合センターで実施)などで発表する。

IJCKSサイト International Joint Conference on Knowledge Science
<http://css.jaist.ac.jp/ijcks2007/>



知を再編する64のキーワード
ナレッジサイエンス

[監修] 北陸先端科学技術大学院大学
知識科学研究科

[編著] 杉山公造 他

発行：紀伊國屋書店

研究メンバー

杉山 公造 (知識科学研究科 教授)
橋本 敬 (知識科学研究科 准教授)

知識科学研究科 全教員